



# 日韓闘争総括試論

## 運動の古い外被と新しい傾向について



八木健彦

日本と韓国との関係は、戦後二十五年にわたって、いかに複雑な経過をたどってきたか。それは、戦前と戦後とを比較すれば、その差が歴然と見えてくる。戦前は、日本が韓国を植民地として、徹底的に搾取し、同化政策を推し進めた。戦後は、韓国が日本を戦犯として、徹底的に攻撃し、賠償を求めた。この二つの相反する傾向が、戦後二十五年の歴史を形作った。

# 日本帝国主義の性格

## 帝国主義的侵略体制の完成

日本帝国主義の性格は、その侵略体制の完成によって、ますます顕著なものとなっている。それは、戦前と戦後とを比較すれば、その差が歴然と見えてくる。戦前は、日本が韓国を植民地として、徹底的に搾取し、同化政策を推し進めた。戦後は、韓国が日本を戦犯として、徹底的に攻撃し、賠償を求めた。この二つの相反する傾向が、戦後二十五年の歴史を形作った。

# 65年の闘いの総括

## 日帝との対決を持たない国際反米運動



戦後二十五年の歴史を振り返ると、国際反米運動の発展が顕著である。これは、日本が戦後二十五年の間、徹底的に韓国を植民地として搾取し、同化政策を推し進めたことに対する反響である。この二つの相反する傾向が、戦後二十五年の歴史を形作った。

# 今年度の学生運動

## 日韓闘争をめぐって

今年度の学生運動は、日韓闘争をめぐって展開された。これは、戦後二十五年の歴史を振り返ると、国際反米運動の発展が顕著である。これは、日本が戦後二十五年の間、徹底的に韓国を植民地として搾取し、同化政策を推し進めたことに対する反響である。この二つの相反する傾向が、戦後二十五年の歴史を形作った。

# 闘争の質的拡大転換を

## 生産点—政治闘争の二重権力

闘争の質的拡大転換を、生産点—政治闘争の二重権力として捉える。これは、戦後二十五年の歴史を振り返ると、国際反米運動の発展が顕著である。これは、日本が戦後二十五年の間、徹底的に韓国を植民地として搾取し、同化政策を推し進めたことに対する反響である。この二つの相反する傾向が、戦後二十五年の歴史を形作った。

今年度の学生運動は、日韓闘争をめぐって展開された。これは、戦後二十五年の歴史を振り返ると、国際反米運動の発展が顕著である。これは、日本が戦後二十五年の間、徹底的に韓国を植民地として搾取し、同化政策を推し進めたことに対する反響である。この二つの相反する傾向が、戦後二十五年の歴史を形作った。

# 新潮社 新刊

あざやかな女  
円地文子著  
あきあき  
吉屋信子著

楽きうく  
吉屋信子著

吉行淳之介  
短編全集

原初の島  
戸川幸夫著

日本報道三十年  
加藤 誠著

ヒソソの生活  
加藤 誠著

稗言多言集  
加藤 誠著

眠狂四郎無頼控(2)  
加藤 誠著

対話人間の建設  
岡 譲・小林秀雄著

白い巨塔  
山本五十六  
聖少女  
高みの見物  
水で書かれた物語  
毛沢東主義

無条件で信頼出来る生涯の友  
ドイツ製高級万年筆  
**MONTBLANC**  
モンブラン

化学的に研究しつくされた最高のインクを供給しています。

“erprobt, bewährt, garantiert” 若い世代に贈る万年筆の最高峰…

2,000円より各種ございます

お問合せは東京O.P.O. Box 181 モンブラン社

---

**懸賞小説募集**

錯乱の時  
代へのア  
プローチ  
のために

京都大学新聞社

本社は第七回懸賞小説募集を行います。此度の募集にとわかれ、新しい視角からの錯乱の現代にアプローチする新人作家を募集するというのが、この企画の意図です。今は「文学」の時代の時代であり、また錯乱の時代でもあります。それだけに、斬新な文章が要求されています。過去六回の募集には、全国大学新聞記者から多数の応募をいただきましたが、今回は昨年同様、井上晴氏、野間宏氏に選定をお願いするつもりです。

◆応募資格 大学、大学院に在学中のもの(学外内を問わず)未発表のものに限る

◆枚数 四〇〇字詰原稿用紙二〇枚以内

◆締切日 昭和四十二年三月末日

◆発表 昭和四十二年五月下旬本紙上

◆賞金 入賞一萬三千元、佳作一萬五千元

◆送付先 京都市左京区吉田京大構内、京都大学新聞社小講座(原稿には、住所氏名、大学名、学部、学年、年令を明記のこと)

なお、原稿は本紙に同じです。原稿は返致しません。

選者 井上光晴氏 野間宏氏